

日本 SEL 研究第 13 回大会へのお誘い（3 号通信）

大会テーマ：「多様な設定と連携により発展する日本の SEL」

ZOOM 開催 2 月 25 日（土）9：30 より受付開始 10：00 開始 18：00 終了

大会事務局 瀧澤悠 都留文科大学・日本 SEL 研究会理事

岡山千賀子 徳島文理大学 日本レクリエーション協会理事

講演：10:10~12:00

日本の未来に貢献する SEL：Discovering the role of SEL in developing Creative Collective Intelligence（創造的集団知の開発における SEL の役割の発見）

講師：Patrick Newell（教育活動家・ビジョナビゲーター・「TEDxTokyo」代表）

ファシリテーター・通訳 瀧澤悠 都留文科大学・日本 SEL 研究会理事

司会進行 鈴木水季 郁文館夢学園スクールカウンセラー・千葉経済大学非常勤講師

日本 SEL 研究会理事



パトリック・ニューウェル氏

アメリカ出身。東京インターナショナルスクールの共同創設者。

講演イベント「TED」の「TEDxTokyo」共同設立者。

OECD の日本における SE スキル調査に関わっている。

ご本人からいただいた英文紹介文を訳し(DeepL 使用)数回に分けてご紹介します。その 2

2008 年、当時は比較的知られていなかった TED カンファレンスに初めて参加し、広める価値のある示唆に富んだアイデアに驚きました。そして、日本で広める価値のあるアイデアを世界と共有するために、日本でこのカンファレンスを開催したいと考え、他の重要なインフルエンサーたちと 2009 年に TEDxTokyo を共同設立しました。

2009 年、教育や 21 世紀の学習に焦点を当てた映画がないことに気づきました。その夏、パトリックは映画監督のギスリー・スナーとともに、28 日間かけて世界中を旅し、さまざまな学習環境にいる子どもたちを記録しました。21 世紀の学習者に 21 世紀の学習を合わせることができる方法を共有することに焦点を当て、ドキュメンタリー映画「21:21」を制作しました。

2016 年、シンギュラリティ大学の 6 日間のエグゼクティブプログラムに参加し、日本がその指数関数的な技術変革プログラムから莫大な利益を得られることに気づきました。そこで、パトリックとそのチームは、シンギュラリティ大学ジャパン・サミットを開催しました。

2018 年、大学院大学至善館で「科学技術・イノベーションと人間存在の未来」「ビジョンとアイデアの伝達術」の科目を担当する教授に就任しました。この大学は、社会イノベーションのためのデザイン&リーダーシップの経営学修士課程を開設しています。

現在、WeWork Japan、コクヨグローバル、自由が丘学園高等学校のアドバイザーを務め、至善館大学の教授として活躍。21 財団を通じて、幼児から企業のシニアエグゼクティブまで幅広い層の人々のための環境、学習モデル、プロセス、フレームワークの創造に協力しています。

書籍紹介

『TED Power』(2014) 朝日新聞社：読者が広める価値のあるアイデアを見つけ、TED コミュニティの一員となり、想像を超えるようなインスピレーションを得るための本。

『子どもの未来を育む 21 世紀型スキル』(2015) を小学館：21 世紀の子どもを育てる方法を親や教育者に啓発している。

『日本を 1 位にする戦略』(2019) 光文社：日本人や日本にゆかりのある 150 人以上にインタビューし、2030 年の日本をどう見ているかを調査。日本は、経済や最新技術だけでなく、さまざまな分野でアジアや世界のロールモデルとなっている。

研究発表：13:00~14:20

「多様な SEL 実践やアイデアを共有する」

司会 佐藤修哉 長野大学 日本 SEL 研究会理事

青山郁子 都留文科大学 日本 SEL 研究会理事

研究発表、実践発表、つぶやき発表などなど、よろしくお願いします。

シンポジウム：14:30~16:50

「多様な設定と連携により広がる SEL の可能性」

司会進行 渡辺弥生 法政大学 日本 SEL 研究会理事

指定討論 笹尾敏明 国際基督教大学

大学からのサバティカル中に、CASEL にてポストドクをされたのが 2003-04 年だそうです。20 年近く SEL に関わっていらっしゃる先生のお話に期待が高まります。

シンポジスト 今井朝子 自由ヶ丘学園高等学校 教育戦略室長

OECD SE スキル調査ナショナル・プロジェクト・マネージャー

高校生に社会性と情動のスキルを、協働(collaboration)の実践を通して教えています。OECD による社会性と情動のスキルの国際的な調査、東京大学・イリノイ大学・NTT によるネットワーク VR の国際共同研究、海外製品の日本へのカスタマイズなど、多数の国際的なプロジェクトで日本側のプロジェクトマネージャーを担当することを通して、協働の重要性を実感しました。また社会で成功している多くの人が協働に長けているというデータもあるため、子どもたちに協働のスキルを教えています。特に社会性と情動のスキル (SES) は協働を成功させるために重要であるため、高校では PBL (プロジェクト・ベースド・ラーニング) の中で SES を伸ばす試みをしています。シンポジウムでは、その試みと OECD 調査についてお話したいと思います。

シンポジスト 船度圭子 和歌山県学童保育連絡協議会役員

京都大学での研究のお手伝いとして、SEL のプログラムを幼稚園・こども園で実施しています。保護者説明会でご家庭に SEL の重要性を知っていただき、園の職員の方々とセッションについて打ち合わせをしながら進めました。子どもによって理解力、受け取り方、考え方が違います。どのように進めればより理解してもらえるのか、どのような進め方がその場の子どもたちに合っているのか、実際に毎日関わっておられる先生方とお話するからこそ、その場の子どもたちに合った進め方ができているのではないかと思います。支援を強化するためには、現場・家庭との連携、そしてその現場や家庭とつながっている行政との連携についても考えていかなくてはならないと強く感じています。

シンポジスト 山根隆宏 神戸大学 日本 SEL 研究会理事／石本雄真 鳥取大学 日本 SEL 研究会理事

全国で放課後等デイサービス事業等を展開しているデコボコベース株式会社と発達障害児を対象とした SEL プログラム開発と効果検証に関する産学共同研究に取り組んでいます。私たちが開発してきた不安症状をもつ発達障害児向けプログラム「PEACE」を、企業のキャラクターにアレンジをし、教材の映像化などを行い、実際に発達障害児に実施し、効果検証を進めてきました。企業との共同研究では、企業のアイデアやニーズ、現場の支援者の声等をプログラムに反映させながら、多くの障害児にプログラムを届けることができる利点を感じています。一方で研究者と企業の考え方の相違や、実際の現場でプログラムを導入することの難しさも感じています。当日は産学共同研究の利点、課題についても触れてみたいと思います。

オンライン交流会：16:50~17:50

司会進行 西田千寿子 一般社団法人日本レジリエンス教育研修センター(JRET)代表

日本 SEL 研究会監事

小学校で特別支援教育に携わりながら、特別支援コーディネーター、教育相談担当、教育支援を担当し、幼稚園の教育アドバイザーも兼任。愛着に問題を持つ子どもたちのための研修会や、若い先生方のための研修会を開いています。

皆様との交流を通じて、SEL を多くの日本の子どもたちに届けたいと願っています。

2022 年は日本の SEL に大きなムーブメントがあったと感じています。ネット上で SEL について読むことが増えたこと、SEL に関係するいろいろな方と出会えたこと、そして、日本 SEL 研究会の会員が増えただけでなく、様々な分野の方々に会員になっていただいたこと、などとてもうれしい 1 年でした。日本の多くの子どもたちに SEL を届けるというミッションにエネルギーをいただいているように感じています。

パトリックさんの SEL に対する真摯な思いをお伝えするエピソードがあります。ZOOM で何回かお話しした後、いよいよ初めて東京でお会いすることになりました！いつ？朝 8 時、どこで？明治神宮。毎朝ウォーキングをされているということでご一緒しました。行きかう多くの方にご挨拶されて、私たちを紹介してくれました。「SEL の先生たち」と。皆さんが笑顔で挨拶してくださいました。「SEL」を朝のウォーキングをする皆さんが知っていたのです。日本に SEL を広めたいということは、まず周りに伝えることだ、と学びました。

皆様はそれぞれどういう SEL 活動をされているのでしょうか？SEL にどんな期待を持っていらっしゃるのでしょうか？日本の SEL が大きく躍動しようとしている今、皆さんは何をしたいとお考えでしょうか？

2023 年 2 月の交流が楽しみです。ぜひ第 13 回大会にご参加ください。

日本 SEL 研究第 13 回大会実行委員長 松本有貴

参加・発表申込み方法； <http://j-sel.org/> より

参加申し込み期限：2/20；参加費支払い期限：2/21

参加費：会員 1,000 円、学生非会員 2,000 円、非会員 4,000 円

原稿送付期限：1/22；お申込み後抄録原稿送付をご案内します。